

(部分)
part(部分)
part

修復前 before restoration



修復後 after restoration

国宝 National Treasures

婚礼調度類（徳川光友夫人千代姫所用）

The bridal trousseau

(for Princess Chiyo, the wife of Mitsutomo TOKUGAWA)

木製

初音蒔絵調度 書棚

高 111.5 cm 幅 92.3 cm 奥行 46.2 cm

江戸時代 1639 年

徳川美術館 愛知

Wood

The Hatsune (First Warbler) Trousseau decorated with gold-lacquered Bookshelf

H 111.5 cm W 92.3 cm D 46.2 cm

Edo period, 1639

The Tokugawa Art Museum, Aichi

寛永 16 年（1639）、徳川 3 代将軍家光の長女千代姫が、尾張徳川家 2 代光友に婚嫁する際に携えた婚礼調度類である。

制作には、幕府お抱えの蒔絵師幸阿弥家 10 代長重（1599～1651）が、その工房の総力を挙げてあたたつたが、完成に 3 年の月日を要したと「幸阿弥家伝書」は伝えている。「源氏物語」から意匠をとり、卓越した技術を用い、あらゆる蒔絵技法を駆使した優品とされる。このように貴重な婚礼調度であるが、経年劣化を免れることはできず、特に漆塗膜の劣化が著しく、早急な修復が必要な状況にある。

初音蒔絵調度 書棚（棚囲い・七宝繫）、書棚（棚囲い・龍膽七宝繫）、胡蝶蒔絵調度 書棚、初音蒔絵旅香具箱及び見台を対象に、2017 年から修復が行われており、2023 年に完了の予定である。